

巻 頭 言



名寄市立大学短期大学部学長
寺山 和幸

来年3月完成予定の新図書館の1階にラーニング・コモンズが配置される。多くの教職員がそうであるように、私の学生時代の図書館にはラーニング・コモンズなど無かった。文科省の用語解説では、「複数の学生が集まって、電子情報も印刷物も含めた様々な情報資源から得られる情報を用いて議論を進めていく学習スタイルを可能にする『場』を提供するもの。その際、コンピュータ設備や印刷物を提供するだけでなく、それらを使った学生の自学自習を支援する図書館職員によるサービスも提供する」となっている。ここで言う学習スタイルとは、教員が一方向的に伝える“teaching”ではなく、学生どうしの自由な議論や教員がいるゼミ形式の授業であってもグループ・ワークやディベートなどを取り入れた双方向授業、すなわち学生が自らの意志で学ぶアクティブ・ラーニングのことである。

では、図書館職員は学生のアクティブ・ラーニングをどこまで支援すべきか。現在、本学では、1年生の必修科目である基礎演習の中に論文やレポート作成に必要な文献を検索できるようにすることを目的として、図書館職員によるアクティブ・ラーニング形式の図書館ガイダンスを組み込んでおり、学生のその後の自学自習に大きく寄与している。この機能は新図書館のラーニング・コモンズにも当然受け継がれていくであろう。一方、他大学においては、学生の自学自習をサポートするために、「図書館コンシェルジュ」なるものを配置しているところが出てきた。その実態はよくわからないが、一般的なアドバイス程度はできるとしても、学生の多様なニーズや指導教員の考え方に従う必要がある論文やレポート作成について具体的な指導ができるとはとても思えない。

本学にはラーニング・コモンズを熟知した人間がいないという理由で、ラーニング・コモンズの運営を業者委託するとか、業者からアドバイスをもらうとの動きがあるようだが、果たしてそれがラーニング・コモンズに対する利用者の期待に応えることになるだろうか。むしろ、1～2年間学生や教職員にラーニング・コモンズを自由に使ってもらい、その結果出てきた使い勝手を良くするニーズに対応する予算措置等を行っていくという「名寄モデル」の構築こそ、学生ファーストの視点に立った対応と言えるのではないかと思う。

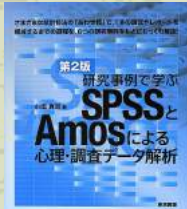


図書館運営委員推薦図書

栄養・看護・社会福祉・社会保育学科の図書館運営委員推薦図書です。

秋の夜長、スマホの手を止め、テレビを消して、静かに読書してみませんか？

『研究事例で学ぶ SPSS と Amos による心理・調査データ解析』 第2版
東京図書 小塩真司 著



「初めて SPSS を使うけど、操作方法が分からない」という方への入門書にお勧め。実際のパソコン上での操作を見ながら、分析結果をどう解釈するかが親切に説明されています。（栄養学科：長嶋）

* χ^2 検定、t 検定や多変量解析等の分析については姉妹書「因子分析・共分散構造分析まで」をご参照ください。

『なるほど！赤ちゃん学 - ここのまでわかった赤ちゃんの不思議 -』



新潮社 玉川大学赤ちゃんラボ 著

この本は、最新の赤ちゃん研究から解った、赤ちゃんの驚くべき力を基に、寝かしつけに効果的な歌い方など、育児に、保育に、看護に役立つ1冊です。

（看護学科：笹木）



『研究する意味』 東京図書 小森陽一 監修

出版から少々時間が経過しているものの、保健医療福祉領域の話題ではないが、国内の著名な研究者が「研究観」を力強く述べ、次世代の研究者や学生へ熱いメッセージを展開している貴重な一冊。（社会福祉学科：松浦）

『人が人のなかで生きてゆくこと - 社会をひらく「ケア」の視点から -』



星雲社 中西新太郎 著

多くの人が時間にも経済的にもゆとりがないいま、人がたがいに支えあい、ともに生きられるかわりはどうすれば可能なのか。「ケア」の課題や考え方を、社会的な視点から提起した本です。（社会保育学科：小尾）

『わかりやすい EBN と栄養疫学』 同文書院 佐々木敏 著



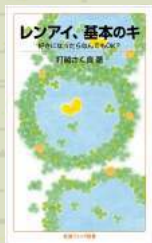
EBN（＝科学的根拠に基づく栄養学）とは何かという理論を始め、栄養疫学系の論文を読むにあたっての様々な基礎知識を収載。特に食事調査を行う際、結果への考察を深めるヒントとして役立ちます。（栄養学科：長嶋）



『見える生命誕生 - 受胎・妊娠・出産』南江堂 池ノ上克, 前原澄子 著
最新の3Dエコーを使った胎児の写真が満載です。受胎・妊娠・出産や男女の発生などに特化した解剖・生理学の本です。「いのち」のすごさに感動してください。(看護学科：笹木)



『精神障害者の地域移行支援 - 退院環境調査ガイドラインと病院・地域統合型包括的クリニカルパス-』中央法規出版 古屋龍太 著
実践を研究するというこの意味を問う一冊。本を開くとすぐに出てくる著者の「ソーシャルワーカーとして大切にすべき志をたくさん教えて頂いた入院感謝さんたちに感謝と反省を込めて」という言葉に著者の熱意と研究への姿勢を強く感じる。(社会福祉学科：松浦)



『レンアイ、基本のキ - 好きになったらなんでもOK?-』岩波書店 打越さく良 著
あなたのことを大事にしてくれ、尊重する人と一緒にいられたら素敵。かけがえのない自分とかけがえのない相手。そうわかり合える恋愛関係を作るため、成長と自分磨きにとっておきの本です。(社会保育学科：小尾)

新着 DVD 紹介

教材 DVD・実践 DVD・映画と 2016 年度新着 DVD のなかから 3 本紹介します。



「自転車でいこう」

ある知的障害の青年とその周囲の人たちを追い、人としての「在りよう」を見つけようとするドキュメンタリー映画です。



「北海道美瑛町の取り組み」 第1巻

『地域包括ケアシステム』の構築を地域のニーズをもとに一足先に取り組んできた北海道美瑛町の取り組みについて見ながら、「地域包括ケアシステム」の在り方について解説しています。
2012 年度社会福祉学科卒業の佐々木榛香さんも出演しています。



「小児看護技術」 第1巻 環境を調整する技術/食事の援助技術

入院時の環境調整や食事の援助についてのケアや注意点などが映像でよくわかる！小児ならではの注意すべきポイントや技術を実践的な映像で学べます。



あなたはもう見た？



選書ツアー



図書館では毎年、学生のみなさんに直接図書を選んでもらう、選書ツアーを行っています。今年は「卒論のたね」「働く」「ケアの未来」というキーワードでの選書をお願いしました。

選書された図書は図書館の蔵書となり、多くのみなさんに利用されます。選書ツアーに参加した学生さんに、選んだ図書の中から2冊以上のPOP(本の紹介文)を書いていただいています。購入図書は本館・分館それぞれに展示されますので、POPも含めてお楽しみに！

選書ツアーの詳細情報は、図書館のHP・facebookにてお知らせいたしますので、ご覧ください。



新図書館情報



平成29年4月のオープンへ向けて、着々と工事が進んでいる新図書館です。

防音シートが取り外され、外観は白い壁が姿を現し、窓ガラスも入り完成予想図のポスターに近づいてきています。また、新図書館と新館2階をつなぐ渡り廊下も壁の解体作業が行われるなど工事の進み具合がよくわかります。

新図書館建設と同様に、蔵書検索、貸出・返却などを行う新図書館システムの構築も始っています。夏休み期間中にICタグ貼付作業が終了し、11月よりICエンコード作業が行われる予定です。このようにさまざまな面で新図書館の準備が進められ、完成を迎えることとなります。

今後の状況も随時お知らせしていきますので、どうぞお楽しみに！

＜＜外 観＞＞



＜＜渡り廊下部分＞＞



＜＜IC タグ貼付図書＞＞



- 編集後記 -

今年も早いもので残り2か月余りとなりました。紅葉が綺麗だなと感じている間もなく、先日初雪が降りました。季節は駆け足で移り変わり、もうすぐ長い長い冬が始まります。体調を崩さないよう、十分気をつけましょうね。さて新図書館へ向けた引越しの作業が始まりました。利用に際し、ご迷惑をおかけいたしますがご理解、よろしくをお願いいたします。



図書館だより

2016年第2号

2016年10月25日発行

名寄市立大学図書館運営委員会

〒096-8641

名寄市西4条北8丁目

名寄市立大学図書館

